

商工会議所青年部 第21回全国サッカー大会 かながわ藤沢大会

なみなみならぬ想い。こころ、ひとつに。波×心

ビーチサッカー大会の部

1. ピッチ

- ・長さ（タッチライン）27.75m 幅（ゴールライン）21m
- ・ペナルティーエリア ゴールラインからセンターラインに向かって8m

2. ボール

- ・ビーチサッカー用5号球
- ・補填用ボールはボールパーソン（運営側）が管理。

3. 競技者

- ・試合は5人制（内1人がキーパー）。
- ・試合中の選手の交代は、人数に制限は無し。一試合の中で再出場は可能。

4. 競技者の用具

競技者のユニフォームは次のとおり。

- ・袖のあるシャツ。
- ・ショーツ（キーパーはトラックスーツ付パンツ着用可）。
- ・靴の着用禁止（靴下着用推奨）。

なお、原則チームで統一のものを着用する。（チーム内で同じ物を用意できない場合に限り、色・柄が揃うビブスを使用可能とするが、出場選手の背番号が被らない様に注意すること）

5. 審判

- ・審判員の判定を優先とする。

6. 試合時間

- ・5分ハーフ、2分のインターバル（休憩）。
- ・前半、後半の終了の合図を、タイムキーパー（主審）がそれぞれの音により合図する。

7. プレーの開始および再開

- ・試合の前半、後半の開始及び、得点後の再開プレーはキックオフ（前方または空中）。
- ・キックオフによる直接シュートは出来ない。
- ・ラインアウト及び、反則等による再開プレーはその他の方法とする。

8. 試合結果の決定

①得点

- ・ゴールポスト内でボール全体がゴールラインを越えると1得点とする。
※但し、ゴールにボールを入れる際にボールを入れたチームの反則が無い時に限る。
- ・ゴールキーパーが投げたボールが直接相手ゴールに入った場合、ゴールクリアランスになる。

②予選リーグ

- ・試合中の得点差により決定。同点の場合は引き分け。
- ・4チームの総当たりで行い順位を決定する。上位1チームが決勝トーナメント出場することが出来る。
- ・順位決定の優先順位は「勝点→得失点差が正に多い→平均年齢が高い」で決定する。

③決勝トーナメント

- ・試合中の得点差により決定する。
- ・同点で後半戦を終えた場合PK方式により勝敗を決める。
- ・両チーム5人ずつ選出しキックする。同点の場合は1人ずつ行い、どちらかのチームが多く得点するまで行う。

9. ファウルと不正行為

- ・インプレー中の反則時、フリーキックとする。
- ・オーバーヘッドキックの動作に入った選手に接触すると反則となる。
- ・オフサイドによる反則は適用されない。

10. フリーキック

- ・競技者および競技関係者が反則を行ったとき相手チームに与えられる。
- ・反則を受けた競技者がボールを蹴る。

11. ペナルティーキック

- ・自陣のペナルティーエリア内での反則を行なったとき相手チームに与えられる。

12. キックイン

- ・インプレー中、ボール全体がタッチラインを越えたとき、最後にボールを触れた競技者の対戦競技者に与えられる。

13. コーナーキック

- ・インプレー中、自陣の競技者が最後にボールを触れボール全体がゴールライン（ゴールポスト外）を越えたとき、対戦競技者に与えられる。

14. その他

①試合開始にあたり

- ・試合開始10分前には、競技場本部付近に集合すること。

②その他

- ・参加チームは、代表者2名を7月19日（金）の代表者会議および前泊者懇親会、7月20日（土）のキャプテン会議に出席させること。
- ・キャプテン会議では、次々年度開催地の投票権を1票有する。